**福井ふるさと茶屋整備支援事業概要**

【事業目的】

白山地区の空き家を改修し、地域住民や、地域外からの訪問者の交流の拠点施設として活用することで、地域の活性化を図る。

【事業実施主体】

　エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま　代表　堀江照夫

【期待する効果】

○コウノトリの見学や農業体験のコース近くに、農産物直売所やミニ農家レストラン、農家民泊ができる施設を整備することで、来訪者に地域の魅力の発信力を高める。

○味噌等の特産品づくりや地元農産物を使った伝承料理教室を開くなど、地域の高齢者と若い世代のコミュニティを創出する。

○自然体験や農業体験、田舎暮らしのグリーンツーリズムの受入れを拡充し、ふくい農業ビジネスセンター事業の連携や、都市住民との通年的な交流を行う。

【整備箇所選定理由】

整備する空き家は、白山小学校、武生第５中学校、白山公民館、コウノトリPR館、「しらやま西瓜」の選果場、コウノトリ飼育ケージなど、地域の住民や来訪者が集まる施設の近隣にあることから、福井ふるさと茶屋の整備後には、近隣施設との連携を強めることが期待できる。

【活用する既存施設の概要】

住　　　所　　越前市上杉本町１１-７

所有者　　東野　行雄

名　 称　　しらやまさんち建築年月日 　 昭和４１年建築

面 　積　　２７３㎡

現　 状 世帯主夫妻が平成22年まで居住していたが、高齢になり市街地の福祉施設に居住を移したため、空き家となっていた。

改修概要 　木造専用住宅　１階　約１６４㎡